

高等部受検について

中学部3年生は、受検の結果がわかって一安心というところではないでしょうか。残りわずかな中学部生活を満喫しながら、やり残したことがないようにして、高等部入学を迎えましょう。

さて、特別支援学校の小学部・中学部は義務教育ですが、本校のように小学部・中学部と同じ学校内にある高等部であっても、高等部は義務教育ではないので、進学するためには選考検査に合格することが必要です。全道には、特別支援学校高等部（高等支援学校）は分校を含めると64校あります（表1）。高等部は義務ではないので、校区は基本的にはありませんが、知的障害や肢体不自由など、それぞれの障害種に対して教育を行う学校に分かれているので、その障害に合った学校に進学することになります。また、特に、職業学科等を設置する学校では、出願者が定員を超えることがあり、選考検査の結果不合格になることもあります。今年も、一部の学校で募集定員を超えた出願がありました。仮に不合格になった場合、2次募集をする学校に出願することになります。

令和2年度入学者選考から、選考検査の内容が大きく変わり、紙面による検査を基本として、日々の学習の修得度や思考力、判断力が問われる内容になりました。前年度の検査（一部）については北海道教育委員会のホームページに掲載されていますので、参考までにご覧ください。高等部受検にあたっては、希望する学校の教育相談を受ける際に、十分話を聞いて、できれば活動の様子の見学もして、疑問点、不安なことを相談・解決することが大事です。そのうえで、志望校を決めると良いでしょう。また、検査問題への対応としては、特別な対策をするということではなく、中学部での日々の学習にしっかり取り組むことがとても大事になると考えます。

表1 道内の特別支援学校高等部の数

障害種	普通科のみ	職業学科等
視覚	1	0
聴覚	0	1
知的	国立1 道立24	道立22 市立2 私立1
肢体不自由	道立7 市立1	1
病弱	道立2 市立1	0

数字は分校を含む

高等部の現場実習について

高等部の現場実習は、3年生は卒業後の大切な進路選択として6月末～年明けまでの幅広い期間で行っています。1年生は地域の事業所で現場実習を体験する目的として、2年生も本人や保護者の事前見学を通じて卒業後の利用先の選択に参考となるように、新型コロナウイルス感染症の影響により、実習先の感染対策状況による受け入れ期間などを考慮しながら実施しています。卒業後の進路を考える際には、就労先や昼間の活動場所など、学校に代わる「通う場所」を探すだけではなく、生活の場や利用できる制度や福祉サービスの活用、その先の将来のことなど、これからの生活全般を考えることが大切になります。働く場、通う場を決めるための情報収集として、学校はもちろん相談機関への相談や、中学部在学中からでも気になる複数の事業所の見学をしておく、具体的な利用のイメージが湧いて、現場実習やその先の将来の生活を考える際の参考になると考えます。今年度、実習させていただいた事業所は次のとおりです。

1年生実習先

余市幸住学園
サポートセンターたね
あおぞら



珍味の袋詰め作業

2年生実習先

余市幸住学園 音幸舎
YUI たかしま 四ツ葉学園
ぷりもぼっそ
パティスリー楽



家電の解体作業

3年生実習先

笑ころ かむかむ そら
ひかり ライズ キロロン
マックスバリュ メープル
サポートセンターたね 塩梅屋



リサイクル品の分別